



# R. I. 第2630地区 高山中央ロータリークラブ WEEKLY REPORT

2015～2016 年度 高山中央 RC 会長テーマ  
「外に発信 内に達成感 さあ行動しよう！」

◆会長 大保木 正博 ◆幹事 坂之上 健一 ◆会報委員長 谷口 欣也 ◆会報担当 和田 良博

創立 1991 年 5 月 20 日

◇事務局 高山市本町1-2

飛騨信用組合本町サテライト出張所 3階

TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488

◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600

◇例会日 毎週月曜日 PM12:30～

◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

<出席報告>

	会員数	出席会員	出席	Make-up	出席率
本日 1066回	54名	52名	42名	—	80.77%
前々回 1064回	54名	52名	37名	5名	80.77%

<点 鐘>

会長 大保木正博

<ロータリーソング>

奉仕の理想

<本日のゲスト>

国際ロータリー第 2630 地区

ロータリー財団部門補助金小委員会委員長

原 正昭 様

<本日のビジター>

岐阜淡墨ロータリークラブ

野原 佳子 様

<会長の時間>

会長 大保木正博

昨日 10 月 25 日(日)は、劔田ガバナーエレクトが地区内の AG (アシスタントガバナー) 予定者を集められて、顔合わせ並びに研修会を開催されました。

地区幹事・島地区大会実行委員長、事務局も参加しました。開始早々の重厚で重苦しい空気も終了時には、参加者全員が大いにうちとけ、心と心の距離がぎゅっと近づいた大変有意義な研修会でした。参加された全員の方が、劔田年度の大成功を予感されたことと思います。次年度会員の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



10 月 24 日(土)には飛騨慈光会後援会の設立 10 周年記念式典に参加させていただきました。私たちのクラブをはじめ各方面から飛騨慈光会を支援してみえる皆さんに感謝状が手渡されましたが、本当に多くの地元の皆さんの支援によって支えられていることを再認識し、大変尊いことだと思いました。

障害のある方を支援することは、一般的には社会的弱者の方を支援するという片方向の行為のように感じられることと思いますが、私の想いは少し違います。

私の息子は障害者で車椅子生活をしています。生まれてまもなく患った脳性麻痺による肢体障害があります。しかしながら保育園から大学まで全て普通学校の普通クラスで、全てのことを皆と同じようにすごしてきました。このようなことができたのは、旧丹生川村及び合併後の高山市の誠に温かいご理解と一方ならぬご支援があつてのことと、心から深く感謝しています。もちろん同級生、学校の

生徒さん、先生方、父兄の皆さん、地域の皆さんと数え切れない多くの皆さんの多大なご理解とご支援にも深く感謝しています。

小学校の 6 年間は、私たち夫婦が交代で車椅子を押して集団登校しました。

中学・高校は車で送り迎えをしました。

そんな息子ですが、彼は周りの皆にお世話になるだけの存在だったのでしょうか。決してそうではないと思います。彼のいたクラスでいじめは一切起きていません。学校生活の中でも、いろいろな行事の中でも、全体の物事の進行が遅れても、息子の車椅子を皆が当たり前のように自然に誰に言われることなく押して事を進行させていました。口幅ったいようですが、息子はクラスの皆にいろいろ手伝ってもらった代わりに、皆の心の中に「やさしい心」「人を思いやる心」の種をお返ししていたと思います。

初代で事業をはじめた私達夫婦にとっては会社の草創期で、送り迎えと中学校まで続いた週 2 回のリハビリは仕事の妨げでしかなかったのでしょうか。私の受け止め方は違います。多感な思春期まで息子と話せる時間が毎日取れたことは、他の親子さんでは決してできないことだったと思っています。通学の道中で泣きながら荒ぶる心でぶつかったこともあります。しかしそんな時間が取れたお陰で、今私たち夫婦と息子の信頼関係は大変強いです。息子も思いやりと感謝の心をもった子に育つことができたと思います。息子の送迎の時間は、私たち夫婦に、人としての最大の仕事である子育てを教え助けてくれました。

息子は現在大学を出て 24 歳の社会人となっています。大学に入る前に南多摩にある整形外科の名医の先生のもとで 1 年間手術のために入院しています。

そして今再度彼は会社を辞め 1 年間をかけて手術を受けようとしています。前の手術結果が想定以上に効果があり、「年齢的にも今が最後のチャンスだろうから、僕は歩くために手術を受ける」といいました。硬い決意です。人生には何度でもリトライのチャンスがある。できるかできないかは、その気があるかどうかだ。常々思っていたことを、再度息子から教えてもらった思いでいっぱいです。彼は私に、「継続すること、トライすること」の大切さを身をもって教えてくれるかけがえのない師です。

この病院を新宮さんに紹介しています。是非新宮さんも診断をうけていただきたいと思っています。そしてクラブへの早期復帰を祈っています。人間社会は、人と人の助け合いではないのでしょうか。どんな人も決して一人では生きていないし、生きられないのです。

ハンディ(障害)についても、目にみえるハンディはよく分かりますが、人は目にみえないハンディも背負っています。身内の不幸、夫婦間不和、家庭内不和、事業の問題、お金の問題 etc... 形こそ違え、世の中にハンディをもっていない人はいないのではないのでしょうか。それを解決に向けて自分で努力しながら、人の助け・助言を受けて乗り越えて生きているのが人生だと思います。そうした相互扶助の延長線上に飛騨慈光会への支援があり、ロータリー財団を通じた奉仕もあると思います。自分たちのできるところから、できる範囲でお互い様の助けあいをしていきたいと思えます。

私立探偵フィリップ・マーロウは言います。

「強くなければ生きていけない、優しくなければ生きている資格がない」

かくありたいと常々思っています。

## <幹事報告>

幹事 坂之上 健一

○岐阜北ロータリークラブより

・ I M ・ ガバナー公式訪問報告書

<高山市民憲章推進協議会より>

・ 歴史文化(観光)施設市民無料公開について

<高山・デンバー友好協会より>

・ デンバー市 ハンコック市長御一行歓迎式及び歓迎交流会開催のご案内

日 時：11月12日(木)～14日(土)

歓迎式：11月13日(金) 17:00

高山市議会本会議場

歓迎交流会：11月13日(金) 19:00～

ホテルアソシア

## <本年度理事役員変更について>

会長エレクト	田中 雅昭
副会長	中田 専太郎
幹事	坂之上 健一
会計	長瀬 栄二郎
会場監督	岡崎 壮男

クラブ管理運営委員会統括理事	高原 清人
クラブ奉仕委員会統括理事	田中 雅昭
職業奉仕委員会統括理事	足立 常孝
奉仕プロジェクト委員会統括理事	久々野 国良
会員基盤増強維持委員会統括理事	山本 辰男
新世代奉仕委員会統括理事	中田 学
副幹事	中田 学
直前幹事	高原 清人

## <本日のプログラム>

ロータリー財団委員会

今井 委員長



## 『卓 話』

ロータリー財団部門・補助金小委員会委員長  
原 正昭 様 (大垣中 R C)

### ○ロータリー財団とは

標語は、「世界でよいことをしよう」(Doing good in the world)。その使命は「ロータリアンが、人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすること」です。

このロータリー財団は、1917年6人目 RI 会長のアーチ・クランプが「世界でよいことをするために、ロータリーに基金を作ろう」と提案して始まりました。最初 26 ドル 50



セントで始まった R 財団基金は約 100 年間で資産残高 8 億 1,370 万ドル超に大きく成長しました。ところが同時に様々な問題を抱えるようになりました。

特に 10 数年前から R 財団は相当な数のマッチング・グラントを処理するようになりました。これはロータリアンが R 財団の人道的プログラムの価値を大きく評価するようになったからです。しかし増えた提出書類の処理に多大な時間と経費を費やすようになりました。R 財団は会計・コンサルティングを専門とする会社に調査を依頼。結果は今のプログラムのモデルでは長期的な成功が望めないとの結論に達しました。これを受け R 財団管理委員会は未来の夢委員会をつくりプロジェクトの見直しに取掛りました。これが「未来の夢計画」(フューチャー・ビジョン)の始まりでした。

「未来の夢計画」の目的は、プログラムと運営を簡素化すること、最大の成果が期待できるロータリアンの奉仕活動に焦点を絞ること、世界的目標と地元目標の両方を果たすためのプログラムを提供すること、意思決定権を今まで以上に地区に移行することで、地区レベルとクラブレベルでロータリー財団が自分たちのものであるという自覚を高めること、ロータリーの公共イメージを高めることの 5 項目です。

岡田ガバナーの地区活動方針テーマは

『過去、現在・今 行動するロータリアン』です。

すでに未来の夢ではなく、行動するロータリーであることの重要性を唱えられています。

是非、財団の存在意義を理解し、地域での奉仕活動をより活性化していくことをお願い致します。

### ○ロータリー財団補助金の種類

補助金の種類とその内容については、補助金は、地区補助金 (DG)、グローバル補助金 (GG)、パッケージ・グラント (PG) の 3 本立てです。

地区補助金は、該当する寄付年度の地区財団活動資金 (DDF) の 50%を地区の裁量でクラブまたは地区が行う以下の事業に使えるものです。

人道的プロジェクト：地元や海外の奉仕プロジェクト・奉仕のための渡航・災害救援活動

「職業研修チーム」

①共同提唱や海外クラブ・地区との協力といった要件が無

い

- ②チームの人数や研修期間に制限がない。
- ③チームは研修を提供することも、受けることもできる。）

「奨学金」

①レベルは（高校・大学・大学院）・期間・場所（国内あるいは海外）・専攻分野に関する制限がない

②奨学金の額に制限がない

※地区では地区補助金について独自の基準と管理運営手続きが必要として 地区補助金支給基準が設定されています。

グローバル補助金は、残りの 50%を重点分野 6 項目（①平和と紛争予防／紛争解決、②疾病予防と治療、③水と衛生、④母子の健康、⑤基本的教育と識字率向上、⑥経済と地域社会の発展）に当てはまる事業に使えるものです。

パッケージ・グラントは R 財団が選んだ協力組織と提携して活動する事業に使われるものです。

○ロータリー財団補助金を使うには

地区内クラブがよく使う地区補助金の申請スケジュールは、例えば 2016-17 年度事業を行う場合、本年度の 10~11 月に覚書（MOU）を地区と交わし、来年 12~1 月に事業を申請しなければなりません。このように前年度からの動きとなるので CLP の下で計画を立てていかなければなりません。グローバル補助金はいつでも申請できます。

覚書（MOU）はロータリー財団補助金使用事業計画が無いクラブでも交わしておくことが大切です。



<ニコニコBOX>

いつも財団をご利用頂きありがとうございます。

ロータリー財団部門補助金小委員会委員長 原 正昭 様  
 〃 委員 野原 佳子 様

地区ロータリー財団部門補助金小委員会委員長 原 正昭 様、同じく委員の野原 佳子 様のご来訪を歓迎致します。本日は卓話をよろしくお願ひ致します。

理事役員一同

地区ロータリー財団部門補助金小委員会委員長 原正昭 様、岐阜淡墨RCの野原佳子様、遠路はるばるのご来訪を歓迎致します。本日は卓話をよろしくお願ひ致します。

今井 俊治

原正昭様、野原佳子様のご来訪を歓迎します。昨日の次期ガバナー補佐研修会初顔合せには、次期幹事の皆様に献身的なご尽力を賜り深謝なる感謝を申し上げます。

劔田 廣喜

地区より原委員長、野原委員ようこそ高山中央ロータリークラブへ来て頂きました。卓話、よろしくお願ひします。昨日、劔田ガバナーエレクトの初陣である次期ガバナー補佐初顔合せ会に次期幹事の皆様には朝よりご協力ありがとうございました。心より感謝申し上げます。

伊藤 正隆

妻の誕生日に花をありがとうございました。

和田 良博

本日、所用にて早退します。

高橋 厚生